

第2回 てつがくカフェ 「医療とケアを問い直す」 @福井大学

「出る杭は打たれる」

日本語のことわざにもあるように、人は無意識的に《人並み》以上になることを恐れています。

しかし、一方で、《どこか人と違う》、そう思われることを期待している自分もいることに気づくことがあります。この境界線を私たちは〈ふつう〉と呼んでいるのでしょうか。しかし、《ふつう》をわたしたちはいつ、どこで、どのように創り出したのでしょうか。また、この〈ふつう〉というあり方は、老いや障害をめぐる医療やケアの場面でも相当厄介な問題をわたしたちに投げかけます。

今一度、この〈ふつう〉というあり方について、立ち止まって考えてみませんか。

(医学部 医学科 2年 渡邊ゆうき)

実施日:5月21日(土) 14:00~16:30
場所:福井大学医学部(松岡キャンパス)講義棟
1階 コミュニケーション・スペース
テーマ:〈ふつう〉とは何か?

参加無料、事前申込み不要。
どなたでもご参加いただけます。途中入退場自由です。

ファシリテータ:西村高宏(福井大学医学部准教授)
ファシリテーション・グラフィック:近田真美子(東北福祉大学健康科学部講師)
共催:福井大学 医学部教育支援センター
問い合わせ先:tanishi@u-fukui.ac.jp(西村)

サークル企画中です。
サークルに関する問い合わせは、医学部医学科2年、齋藤(st15035@u-fukui.ac.jp)まで。

へ
ふ
つ
う
〜
と
は
、
何
か
?